

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

第193号

平成25年8月10日

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 河田秀雄 編集人 後安宏彦
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



美瑛パッチワークの路（北海道上川郡美瑛町）

撮影：竹中 弘（草津支部）

訃 報

当連盟会長の南出力利先生が、5月27日にご逝去されました。故南出会長の生前のご遺徳とご功績を偲び謹んでお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。

告別式につきましては、5月30日に公益社南ブライトホールにおいて執り行われました。



故 南出力利会長

会長職の代理・代行について

南出力利会長のご逝去に伴い、当連盟規約第9条及び会務執行規則第7条3項により、来たる9月13日開催の第47回定期大会終了の時まで、第一順位副会長である河田秀雄副会長が会長職を代理・代行いたします。

当連盟定期大会での新会長選任時まで、河田秀雄副会長の会長代行に関して、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

南出力利会長のご逝去に捧げる

近税政幹事長 井戸本恭次

5月27日、近畿税理士政治連盟会長南出力利先生がお亡くなりになりました。ご葬儀には通夜の参列者を含め、各界から1,000名を越える弔問の方々のご参列をいただきました。いつも穏やかで笑顔を絶やさず、多くの方々から愛され尊敬された南出会長に相応しい、華美に走らず謙虚な葬儀であったと思っております。



思い起こせば、6年前、北野博也前会長の後を受け、体調が優れないなか請われて会長職に就任いただき、2府4県の税政連を統括されてこられました。その間、幾度となく襲ってくる病との闘いに立ち向かい、心身に鞭打ちながら、会長としての強い使命感で与えられた職責を務められましたことに、心より敬意を表し感謝いたします。

幹事長として二人三脚で会務を執行する間、幾度となく頂いたご家族からの会長職辞任の要請にも、私個人の思い入れにより続投をお願いいたしました。特に、昨年の定期大会においては、極度の痛みに耐え出席していただき、会長挨拶、会員表彰そして支部連等の表彰と、長時間にわたる会務をこなしていただいたことは、本懐を全うした男の美学を見る思いであります。その中でも会員表彰は、南出会長の心の優しさから提案されたものです。税政連の役員は、いつも本会の裏方で一般会員からはなかなか評価されない役回りだから、せめて税政連で心からお礼の気持ちを伝えようとの考えで始めました。また、新旧役員による懇親旅行等、心と心を繋ぐ行事を定着化されるとともに、会務執行や制度改革に数多く取り組んでいただきました。一点、税理士法改正法案の成立を見ることなく旅立たれたことは、南出会長ご自身も残念な思いであったと推察いたします。正念場を迎えた税理士法改正、なんとでも成立させるべく、残された役員一同、心を一つにして頑張る所存であります。



懇親旅行（道後温泉）

この6年間、ご家族の方々には大変なご苦勞をお掛けいたしました。特にこの1年間は、療養に専念してほしいという思いを常にお持ちであったことを十分察しながらご無理を申し上げましたこと、心よりお詫び申し上げますとともに厚くお礼申し上げます。

戦友が1人去っていった悲しみが、いま心にわいてきています。南出力利先生、ご指導有難うございました。

目次

南出力利会長のご逝去に捧げる……………	2
第23回参議院議員通常選挙・	
推薦候補者7名が当選……………	3
会員研修会を開催……………	4

選挙関連法勉強会を開催……………	5
後援会ニュース……………	5
かんさいすずめ……………	15
銀河系……………	15

第23回 参議院議員通常選挙

推薦候補者7名が当選

第23回参議院議員通常選挙が、平成25年7月4日公示、7月21日投票により施行された。即日開票の結果、当連盟推薦候補者9名のうち7名が当選を果たした。

当連盟では、4月12日に第4回推薦審査会を開催し、府県連・支部連から報告のあった推薦候補予定者について、国会議員選挙区選挙における推薦基準及び国会議員比例代表選挙における推薦基準に基づき慎重な審議を行い、選挙区5名、比例区2名の計7名の推薦候補者を決定した。また、4月24日に第5回、5月24日に第6回の推薦審査会（ともに書面審議）を開催し、それぞれの会で選挙区1名ずつ推薦候補者を決定した。

推薦候補者に対する支援活動については、6月17日に、支部連・支部及び後援会役員を対象として「選挙関連法勉強会」（本紙5頁参照）を開催し、今回の選挙より解禁となった「インターネットを使った選挙運動」を中心に具体的な説明を行い、法令

違反のないよう徹底を図った。

選挙期間中は、支部連及び後援会が中心となって電話戦術および法定推薦ハガキによる支援活動の徹底を期した。また、本部においては国対・選対・後援会对策委員会が中心となって本部選対を設置し、選挙関連法及び支援活動についての問い合わせに応じるとともに、電話戦術担当者に対する事前確認や、後援会・支部連における支援状況の把握等、組織的・効率的な活動の展開を図った。

支援活動が各地で強力かつ適法に展開された結果、当連盟推薦の候補者9名のうち、選挙区6名、比例区1名の計7名が当選を果たした。

当選された候補者には、ますますの活躍を期待するとともに、納税者のための公正な税制確立、税理士法改正実現のため、力強いご支援を頂戴したい。また今回惜しくも涙をのんだ候補者には、次回に向けて捲土重来を期されることを念願する。

第23回参議院議員通常選挙における推薦候補者と選挙結果

推薦候補者	政党	選挙区	現職・新人	後援会	日税政推薦	当落
柳 本 卓 治	自民党	大阪府	前衆議院議員	○	○	🌹当選
杉 ひさたけ	公明党	大阪府	新人	—	○	🌹当選
梅 村 聡	民主党	大阪府	現職	—	○	落選
西 田 昌 司	自民党	京都府	現職	○	○	🌹当選
鴻 池 よしただ	自民党	兵庫県	現職	○	○	🌹当選
堀 井 巖	自民党	奈良県	新人	—	○	🌹当選
世 耕 弘 成	自民党	和歌山県	現職	○	○	🌹当選
山 本 香 苗	公明党	比例代表	現職	—	○	🌹当選
石 井 一	民主党	比例代表	現職	○	○	落選

会 員 研 修 会 を 開 催

6月17日、近畿税理士会館において、会員研修会が開催された。研修会には186人の参加があり、前川武政国対委員長の司会で開会宣言がなされた。来賓として西村康稔内閣府副大臣、宮田義見近税会会長が出席した。

細谷睦雄近税政副会長より「安倍内閣になり、TPPの話題が高まってきた。本日は、西村副大臣をお招きし、詳しくご講演をしていただきます」と開会の挨拶があった。

第1部 講演「TPP交渉の行方」

講師：西村康稔 内閣府副大臣

「TPPは、太平洋を取り囲む国々の間で、モノやサービス、投資などがなるべく自由に行き来できるよう、各国の貿易や投資の自由化やルール作りを進めるための国際約束（条約）である。日本は、現在交渉に参加している全11カ国における交渉参加受け入れのための国内手続きが完了次第、交渉に参加することになるが、日時は未確定である。



西村康稔 内閣府副大臣

TPPの基本的な考え方は、アジア太平洋地域における高い水準の自由化を目標とすること。物品の関税の撤廃・削減や、サービス貿易だけではなく、非関税分野のルール作り、環境、労働等を含む包括的協定として交渉されている。

日本が交渉に参加する具体的なメリットは、関税が撤廃され、貿易手続きが簡素化されることで衣食住にかかわる商品が安く購入できるこ

とや、日本の優れた工業製品等や高品質の農林水産物が海外に輸出しやすくなることである。

交渉においては、貿易の自由化によって国民の食の安全が損なわれないよう、国際基準や科学的根拠を踏まえて対応し、国民の安心の確保に努める。また、日本が誇る国民皆保険制度の維持を、安全・安心な医療のため主張していく。

さらに、食料を安定して供給していくことが重要である。日本の「食」と「農」を守るため、TPP交渉において守るべきものは守り、攻めるべきものは攻めることにより、国益を最大限に実現するよう交渉に当たる。国民へのTPP交渉の情報提供は、官邸や内閣官房、外務省などのHPに掲載されている

など、一つひとつわかりやすい説明がされた。

第2部 パネルディスカッション 「TPPが税理士制度に与える影響」

パネリスト：西村康稔 内閣府副大臣

川本富美雄 近税政副会長

井戸本恭次 近税政幹事長

コーディネーター：田達満 政策委員長



右から川本副会長、西村副大臣、井戸本幹事長、田政策委員長

我々にとって最大の関心事である税理士の資格、サービス提供について、西村副大臣より「国境を越えるサービスの提供（サービス貿易）等については、日本国の法令に準拠したルールを定めていかなければならない」などの説明があった。
(西宮支部 森本幸子)

選挙関連法勉強会を開催

6月17日、近畿税理士会館において選挙関連法勉強会が、支部連・後援会役員を対象に開催された。



まず第一部は、今回の国政選挙から適用される改正公職選挙法の勉強会を前川武政国対委員長が行った。今回の選挙からインターネットを使った選挙運動が解禁される。①有権者は、ウェブサイト等を利用した選挙運動が可能となるが、電子メールを利用した選挙運動は引き続き

禁止されている。②候補者・政党等は、ウェブサイト等及び電子メールを利用した選挙運動が可能になった。これらの運用について、具体的な注意があった。

引き続き行われた第二部では、第23回参議院議員通常選挙における近税政本部の選挙支援体制について、井戸本泰次幹事長より発表があった。まず、公示日の7月4日から19日まで、電話戦術当番者に対する当番日の事前確認及び公職選挙法等についての問い合わせに応じるため、近税政事務局に選対本部を設置することが述べられた。次に選挙支援活動について、後援会が設立されている推薦候補者は後援会会長、支援後援会が設立されていない推薦候補者は支部連会長を責任者として、本部・支部・支援後援会との連絡、協議を行うことなどが説明された。

(上京支部 矢田善久)

後援会ニュース

おだち源幸後援会 社会見学会

税理士によるおだち源幸後援会は、4月8日、造幣局(大阪市北区)の社会見学会を実施した。



まずは、造幣局の事業を紹介したビデオを見た。造幣局は、近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって創設された。造幣局の主な事業として貨幣製造事業、貨幣セットなどの販売、勲章・褒章・金属工芸品の製造、貴金属の精製・品位証明、地金・鋳物の分析・試験があり、この事業を大阪市にある本局、

東京都と広島市にある支局で分担している。

次に造幣局の建物内へ移動し、貨幣の製造工程である貨幣に模様やギザをつける圧印工程と、検査に合格した貨幣を日本銀行へ送るための袋詰め工程を見学した。続いて、勲章の製造工程である七宝盛り付けや焼き付け、羽布で研磨して光沢をだす工程を見学した。さらに造幣博物館へ移動し、古代に作られた中国貨幣をはじめ、富本銭・和銅開珎、大判・小判、丁銀や、現在流通している貨幣など、世界各国のさまざまな貨幣を鑑賞した。

屋外に出ると、桜の花が満開で、辺り一面ピンク色の花がこぼれんばかりに咲き誇っていた。造幣局の桜の通り抜けは、明治16年、時の遠藤謹助局長が「局員だけの花見ではもったいない。市民とともに楽しもうではないか」と提案したことにより始まったそうである。

参加者は、尾立源幸参議院議員と共に、しばし桜の花を楽しんだ。(生野支部 小川由美子)

西野弘一後援会 発足式

3月22日、東大阪市の木曽路長田店において、税理士による西野弘一後援会の発足式が開催された。発足式当日で51人の会員が入会しており、そのうち35人が出席した。



西野弘一 衆議院議員

高岡稔発起人の開会のあいさつで始まり、井戸本泰次近税政幹事長が「西野弘一後援会が速やかに結成され、お祝いを申し上げます。西野陽氏の時代から後援会活動が活発な支部であり、大変期待している。税理士会に理解のある議員が、また一人誕生したことを心強く思っている」と祝辞を述べた。

また、後援会会長に濱田明久氏が選出された。濱田新会長は「当選後、早い段階で後援会を立ちあげた。しっかりと精一杯やり遂げたい」と心強いあいさつをした。

次に、西野議員より「日本という国をもっと公平な社会にしていくために、一番大事なのは税である。国民の皆様にも公平に負担してもらい、本当に必要な部分に公平に補填していく。そのために、税の専門家である先生方と密接な関係でやっていきたい」とのあいさつがあった。

その後、石津良行大阪府第4支部連会長の乾杯の発声のもと懇親会が始まった。その中で、中田保頼顧問より西野議員に対し今後の活躍を期待して、檄が書かれた三本の鉢巻が贈られ、西野議員も非常に感激した表情であった。最後に嶋田新一顧問より閉会謝辞があり、懇親会は盛会裏に終了した。(東大阪支部 政本彰人)

柳本卓治後援会 設立総会

6月2日、選挙区の異動に伴い新たに税理士による柳本卓治後援会の設立総会が、住吉大社吉祥殿で開催された。

来賓として柳本卓治前衆議院議員、近税政より河田秀雄会長代行兼大阪府連会長、大阪府支部連から若林日出紀第1支部連会長、大西尚史第3支部連会長、石津良行第4支部連会長、竹内芳彦第5支部連会長が出席した。



柳本卓治前衆議院議員(左)と中野雅司後援会会長

岡訓範発起人の司会により開会が宣せられ、来賓の紹介に続いて、田達満発起人代表が設立趣意書を朗読。司会者の指名により小倉文彦発起人が議長となり、議事録署名人の指名を行った後、議事に入った。上程されていた後援会規約、役員人事、平成25年度事業計画及び収支予算の各議案は、慎重審議の結果、全て可決承認された。

設立された柳本卓治後援会は、75人の会員、中野雅司会長、楠本雅一幹事長を中心とする役員で発足した。

来賓を代表した河田会長代行の祝辞に続き、柳本前議員が後援会設立の謝辞を述べ、岡本恒彦後援会副会長が閉会のあいさつをした。

続く懇親会は、栃本彌二郎後援会副会長の司会で開会した。太田耕司後援会副会長のあいさつの後、駆けつけた井戸本泰次近税政幹事長が乾杯の発声を行った。活発な懇談後、外園善弘後援会副会長の一本締めで、盛会のうちに閉会した。(城東支部 武田泰雄)

うえの賢一郎後援会 設立総会

税理士によるうえの賢一郎後援会設立総会が、6月23日、北ビワコホテルグラツィエにおいて開催された。来賓として、上野賢一郎衆議院議員、藤井勇治長浜市長、日税連から池田準啓会長、近税会から北村善和総務部長、近税政から河田秀雄会長代行が出席した。



古澤宏之発起人による開会宣言の後、児玉匡仙発起人が議長に指名され、議事に入った。本城善男発起人代表が、まず設立趣意書を発表した。引き続いて、上程議案として後援会規約・役員選任・事業計画・収支予算の説明をし、慎重審議の末、可決承認された。さらに役員選任の議案が上程され、発起人の中から本城会長、古澤幹事長等を選任した。その後、上野議員から、自民党の税制調査会の幹事として携わっている景気・雇用対策のための税制改正や税理士法改正に向けての取り組みの経緯など、期待の持てる国政報告があった。

上野議員は衆議院2期目で、議員の前は自治官僚として、地方政治並びに地方税制等に深く携わってこられた実績がある。まさに豊富な経験に裏打ちされた卓越した見識と、妥協を許さない実行力を兼ね備えた政治家である。後援会は、「税理士法改正」に向けて取り組んでいただいている上野議員とスクラムを組んで、早期立法化を目指したい。

総会、国政報告会の後、同ホテルにて懇親会が開催され、盛会のうちに散会となった。

(草津支部 竹中 弘)

西田昌司後援会

税理士による西田昌司後援会の第7回定期総会が、3月29日に京都ホテルオークラにおいて開催された。

来賓として西田昌司参議院議員、日税連より池田準啓会長、近税政本部より河田秀雄・大村恵美子・今中英雄各副会長、原綱宗総務会長、井戸本泰次幹事長、笹岡憲一・前川武敏副幹事長、京都府支部連より奥村和義会長、谷口貢幹事長と、多くの方々が出席した。



定期総会に先立って「平成25年度税制改正の成立過程あれこれ」というテーマで国政報告会が行われた。西田議員は「伝えよう、美しい精神と自然。日本の背骨を取り戻そう！この言葉をスローガンに参議院に立候補をして早くも6年が経とうとしています。もう一度かつての国力を取り戻すことが、私の使命であります」と述べた。

定期総会では、中江嘉和会長が「西田議員は、自民党税制調査会幹事、税理士制度推進議員連盟の事務局長として活躍をされており、広範囲にわたって活発な政治活動を展開されている。本年は参議院改選期に当たるため、我々の後援会は西田議員の必勝トップ当選を期してより積極的に活動するため、会員の増強を図りたい」と力強くあいさつをした。

定期総会終了後、引き続いて開催された懇親会では、西田議員が気さくに各テーブルを回り、多くの会員と親しく懇談。大変有意義な時を過ごした。

(上京支部 矢田善久)

世耕弘成後援会

税理士による世耕弘成後援会の平成24年度定期大会が、3月30日、和歌山市のルミエール華月殿において開催された。

堀博充会員の司会により開会し、速水慎一郎後援会会長があいさつした。次いで、来賓の田達満近税政副幹事長より、税理士法改正の近況報告を兼ねたあいさつがあった。



続いて、石倉督斗会員が議長に選出された。世耕弘成参議院議員による国政報告会に十分な時間がとれるよう、迅速に全ての議案が可決承認された。

国政報告会で世耕議員は、アルジェリア人質事件について、第2次安倍内閣の初動体制の早さや官僚といえどもミスがないか政治家としてチェック機能を果たしたこと、PM2.5の大気汚染対策について危機は小さい内に摘む必要があることを述べた。また、中小企業金融円滑化法の3月31日期限切れに対応するため、モニタリング会議を立ち上げ、官民をあげて総合的な対策を推進する考えを強調した。さらに、支持率が日々増加し、80%近くにまでなったこれからは正念場であると話し、強い意気込みが感じられた。

その後、同会場で、岡田泰介会員の乾杯により懇親会を開催した。世耕議員は、内閣官房副長官として多忙なスケジュールをこなしながら、最後まで会員との懇談を深めた。中北茂寛会員による閉会謝辞をもち、懇親会は盛会裏に終了した。
(和歌山支部 小西里枝)

おだち源幸後援会

税理士によるおだち源幸後援会定期総会・国政報告会が、帝国ホテル大阪において4月8日に開催された。来賓として尾立源幸参議院議員、池田隼啓日税連会長、久保田金次郎大阪府第2支部連会長、大西尚史第3支部連会長、石津良行第4支部連会長、竹内芳彦第5支部連会長が出席した。



尾立源幸 参議院議員(中央)

井戸本泰次後援会会長より「後援会の設立に際して、税理士・公認会計士の資格を持つ尾立議員に、自己紹介では必ず税理士・公認会計士と名乗っていただきたいとお願いした。それ以降、今日までその約束を誠実に守っていただいている。生真面目で誠意のある尾立議員のため、本年もこの後援会をさらに活性化させていく」とあいさつがあった。続いて、呑海英治泉佐野支部長が議長に選任され、議案は全て可決承認された。

河田秀雄新後援会会長からの就任あいさつの後、来賓を代表して、池田日税連会長が「税理士法改正について良くご理解いただいている尾立議員には、我々の発言、陳情を是非国会へ持って行っていただきたい」とあいさつした。

次に、尾立議員の国政報告会が行われ、IPU(列国議会同盟)会議、北方領土問題、平成25年度税制改正など、非常に興味深い話が熱く語られた。その後、尾立議員を囲んで懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(生野支部 小川由美子)

中山泰秀後援会

税理士とその関与先による中山泰秀後援会第9回定期大会が、4月15日、大阪市中央区城見にあるホテルモンテラ・スール大阪において開催された。

来賓として中山泰秀衆議院議員、近税政より河田秀雄副会長、久保田金次郎大阪府第2支部連会長が出席した。



中山泰秀 衆議院議員(中央)

第1部の定期総会では、旭輝明後援会総務委員長長の司会で開会宣言がなされた後、新田博之後援会会長のあいさつ、来賓の紹介、議長の出選が続いた。議長に選出された川崎哲之会員は、議事録署名人の指名を行った後、議事に入った。

本定期総会では、第1号議案と第2号議案が上程された。それぞれの議案は各担当者の説明の後、慎重審議の結果、原案どおり満場一致で可決承認された。

第2部の時局講演では、中山議員が「最近の政局について」と題して講演するとともに、安倍総理に同行した硫黄島訪問についての詳細な報告を行った。

その後、天野香鶴子副会長が陳情を行い、山田忠良常任副会長が御礼のあいさつを述べて講演会は終了した。

第3部の懇親会は、中山正暉元衆議院議員も参加し、久保田支部連会長の乾杯で始まった。和気藹々と談論風発して懇親を深めた。そして西川一博副会長の閉会のあいさつをもって終了した。
(城東支部 武田泰雄)

中馬弘毅後援会

税理士による中馬弘毅後援会臨時大会が、シェラトン都ホテル大阪において、4月17日に開催された。来賓として中馬弘毅前衆議院議員、井戸本恭次近税政幹事長が出席した。



泉谷正人会計責任者が開会を宣し、久田輝雄後援会会長が「中馬前議員が政界を引退されるため、後援会を続けることができなくなり、残念ですが解散することになりました。余り湿っぽくならず、ゆっくりと楽しい時間を過ごしたいと思います」とあいさつした。次に、第1支部連南支部の若林日出紀支部長が議長に指名され、議案の審議に入った。議案は全てが原案どおり、賛成多数で可決承認された。

続いて、中馬前議員が「引退に伴い中馬弘毅後援会を解散することになりました。長きにわたり支えていただき、誠にありがとうございました。国政を目指したのは、父が亡くなった昭和46年でした。公害問題などの都市政策のないことを不満に思う大阪市民の支援のもと、昭和56年に衆議院議員総選挙で初当選しました。幅広い市民の支援によって国会に挙げていただいた自負と誇りを持って、今まで自分の信念を貫いた行動を取ることができました。そして、さまざまな仕事をさせていただいた36年間の幸せな政治生活を終えることができたことを、心から感謝しております」と述べた。

その後、開催された懇親会は、中馬前議員を囲んで終始和やかな雰囲気の中終了した。

(生野支部 小川由美子)

吉田おさむ後援会

税理士による吉田おさむ後援会第1回定期大会・講演会が、4月19日、大阪市北区堂山町にあるKKRホテル梅田において開催された。

来賓として吉田おさむ前衆議院議員、近税政より河田秀雄副会長、雪松弘副会長、大村恵美子副会長、今中英雄副会長、田達満副幹事長、桑野秀朗副幹事長、久保田金次郎大阪府第2支部連会長が出席した。



高島正彰会員の司会で開会宣言がなされた後、協阪説男後援会会長のあいさつ、来賓の紹介、議長を選出と続いた。議長に選出された中尾一仁会員は、議事録署名人の指名を行った後、議事に入った。

定期大会では、第1号議案から第4号議案が上程された。各議案は担当者の説明の後、慎重審議の結果、全議案が原案どおり満場一致で可決承認された。

続いて講演会が行われた。第1部では、近畿経済産業局より大西宏志課長が「中小企業経営力強化支援法の具体的運用について」と題した研修を行った。第2部では、吉田前議員が「時局を読む」と題して、最近の政局や経済状況の分析と今後の景気動向を報告した。

懇親会は、今中副会長の乾杯の発声で始まった。途中、井戸本泰次近税政幹事長も駆けつけ、吉田前議員を囲んで、和気藹々と懇親を深めた。その後、久保田支部連会長の閉会のあいさつで懇親会は終了した。

(後援会寄稿)

西村やすとし後援会

税理士による西村やすとし後援会定期大会が、4月26日、グリーンヒルホテル明石において開催された。

来賓として西村やすとし議員秘書、近税政より田中勇治副会長、井戸本泰次幹事長、兵庫県第2支部連より北村光子会長が出席した。



司会の市原幸恵後援会幹事長が開会を宣言し、河合正美後援会会長があいさつを述べた後、議事に入り、議案は全て原案通り、賛成多数で可決承認された。

次に、井戸本近税政幹事長より、「後援会の活発な活動に感謝する。西村議員は内閣府副大臣として活躍されている」とのあいさつがあり、さらに税理士法に関する改正要望書についての説明と現在の状況の経過報告がなされた。また、社会から信頼される税理士制度の構築を図ることが必要であること、インターネットによる選挙活動ができることになったので正しい活動と対応をしてほしい旨の説明があった。

続いて、国政報告会に移った。西村議員秘書より「後援会活動にお礼を申し上げます。西村議員は今、東京で頑張っており、内閣府においてTPP活動の担当、その他多数の活動をしている。アベノミクス効果が浸透してきているように思えるが、末端まではもう少しかと思う。中小企業を支えていかなければならない」とのあいさつがあった。

次に懇親会に移り、終始和やかなうちに散会となった。

(西宮支部 森本幸子)

北側一雄後援会

税理士による北側一雄後援会第10回定期大会が5月13日、ホテル・アゴーラリージェンシー堺において開催された。

来賓として、北側一雄衆議院議員、近税政より細谷陸雄副会長、田達満副幹事長が出席した。



北側一雄 衆議院議員

司会の西尾重則後援会幹事が開会の宣言をした後、竹内芳彦後援会会長から、今後の安定した経済成長と税理士法改正に向けて北側議員の活躍を期待する旨のあいさつがあった。

次いで、森敏則後援会副会長が議長に選任され、平成24年度活動報告及び収支決算報告承認の件が上程された。古淵孝仁後援会幹事長の説明の後、議案審議に入り、全議案が原案どおり可決承認された。また、平成25年度活動方針及び収支予算、任期満了による役員改選の件についても同様に、満場一致で原案どおり可決承認された。

続いて細谷近税政副会長から、税理士法改正要望12項目の詳細な説明を交えたあいさつがあった後、北側議員より「今の景気期待感を現実に実感していくためにも、給与賃金の上昇など様々な対策をしていきたい」との報告があった。

その後、橋本多恵美後援会副幹事長の司会で意見交換会が始まった。森近税政堺支部長の開会あいさつ及び田近税政副幹事長の乾杯、北側議員を囲んだ歓談があり、大谷勝明大阪府第5支部連幹事長の中締めにより、盛会裏に終了した。
(泉大津支部 石谷秀志)

伊吹文明後援会

税理士による伊吹文明後援会定期総会が、6月15日、からすま京都ホテルにおいて開催された。来賓として伊吹文明衆議院議員、近税政より原綱宗総務会長、井戸本泰次幹事長、笹岡憲一副幹事長、京都府支部連より奥村和義会長、谷口貢幹事長、税理士による二ノ湯さとし後援会より今西衛会長、谷口康夫幹事長が出席した。



室谷澄男幹事長の司会により開会し、北條巖会長より会員への感謝と昨年の衆議院議員総選挙の報告があった。引き続き廣瀬來三名誉会長より、伊吹議員への労いと、さらなるご活躍をお願いする旨のあいさつがあった。

そして、伊吹議員より国政報告が行われ、衆議院議長の職務について話すとともに「経済再生のためには、政府主導の下、道筋を示し、それを見極め着実に実行していくことが重要であり、今は調整局面である」との話があった。

続いて総会に移り、事業報告と会計報告、事業計画と予算、役員改選について可決承認され、引き続き盤石な体制で伊吹議員を支援していくことを確認した。総会終了後、井戸本近税政幹事長が参議院議員選挙や税理士法改正について説明し、奥村支部連会長が京都府支部連の今後の動きなどについて話した。

その後、懇親会に移った。谷口支部連幹事長の乾杯の発声によって始まり、終始和やかな雰囲気の中で、深田庸雄副会長の中締めをもって閉会した。

(右京支部 吉田和之)

平野博文後援会

税理士による平野博文後援会定期総会が、6月20日に北大阪商工会議所で開催された。

来賓として、平野博文前衆議院議員、井戸本泰次近税政幹事長が出席した。



平野博文 前衆議院議員(左から3人目)

中川良比古後援会幹事長の開会宣言の後、石原紀一後援会会長が、「前回選挙は思いもかけない残念な結果であったが、野党時代から長年応援してきて良かった。これからも変わらず応援していく」とあいさつした。

続いて、石原会長が議長となり議事に入った。熱心な議論の末、平成24年度活動報告及び収支報告書と、平成25年度活動計画及び収支予算が可決承認された。

次に新役員人事が上程され、選出された田中克実新会長が代表してあいさつを述べた。

来賓のあいさつに立った平野前議員は、石原前会長の長年の労に対するお礼と、厳しい現状の中で後任にあたる田中新会長に対し「気を引き締めて、もう一度原点に戻って政治を志していく。地元の皆様の信頼を裏切らない、また、信頼を改めて構築していく政治活動を続けていきたい」との決意を述べた。

続いて井戸本近税政幹事長は、平野前議員の文部科学大臣時代の活動を紹介し、「後援会には今まで以上に活発な税政連活動をお願いしたい」と話した。

最後に石原前会長のお礼のあいさつがあり、定期総会は閉会した。(茨木支部 中西勝也)

盛山正仁後援会

6月22日、神戸市灘区にあるシマブンビル会議室にて、税理士による盛山正仁後援会年次総会が開催された。

来賓として、盛山正仁衆議院議員、徳富勲近税政副会長が出席した。



盛山正仁 衆議院議員(前列右から2人目)

山本勝美副会長の司会により開会が宣言され、垣見正孝会長より「現在、政治経済が安定しない世の中であるが、盛山議員には、我々の将来を担う方になっていただきたい。引き続き応援していきたい」とのあいさつがあった。

次に、議長に長谷川隆史副幹事長が選出され、議事に入った。議案は全て原案通り可決承認された。

その後、徳富近税政副会長が「後援会設立2年目となる本年は、盛山議員とも意思疎通を図りながら、より本格的な後援会活動に取り組んでいただきたい」とあいさつした。

続いて、盛山議員は「後援会が設立された直後にあった選挙では、皆様にご支援いただき、感謝している。法務大臣政務官という要職に就き、法務行政に携わり、多忙な日々を過ごしている。今後とも、皆様の支援をお願いしたい」と述べた。

最後に、田嶋定幹事長による閉会のあいさつの後、年次総会は無事終了した。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(芦屋支部 吉田智代)

川ばた達夫後援会

6月26日、税理士による川ばた達夫後援会定期総会が滋賀県民交流センターで開催された。

来賓として川端達夫前衆議院議員、近税政より原綱宗総務会長、滋賀県支部連より鈴木勝博会長が出席した。



川端達夫 前衆議院議員(中央)

開会宣言の後、戸次威左武後援会会長があいさつをし、まず昨年の衆議院選挙の選挙活動に対する感謝の辞を述べた。次いで、後援会活動のさらなる活性化と会員の増強をお願いした。

続いて、林繁里幹事長が平成24年度活動報告と会計報告をした。

議事終了後、川端前議員からあいさつがあり、「税理士の皆様に感謝している。皆様のご支援に応えられるように再び国会を目指して精進してまいります」と力強く宣言された。

川端前議員は、議員歴26年と経験豊富であり、しかも内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)、文部科学大臣、総務大臣を歴任され、民主党の副代表、幹事長も務めた。税制並びに税理士制度・租税教育・電子申告について造詣が深いため、川端前議員と会員が意見交換できる機会を積極的に設け、意思疎通が図れる環境を構築し、再び国会で活躍されるように後援会の更なる活性化に努めなければならない。

引き続き、同会場で懇親会が開催され、会員と積極的に意見交換をし、盛会のうちに散会となった。

(草津支部 竹中 弘)

岸本周平後援会

税理士による岸本周平後援会定期大会・国政報告会・懇親会が、6月29日、ホテルアバローム紀の国において開催された。

来賓として井戸本泰次近税政幹事長が出席した。坂本忠進会員の司会により開会し、溝上裕章後援会会長があいさつした。次いで井戸本近税政幹事長より、日税政活動報告を兼ねてのあいさつがあった。



定期大会では、役員改選について可決承認された。大西省悟新後援会会長が就任し、「税政連は党を応援するのではなく、国会議員個人を応援する」とあいさつをした。

続いて、岸本周平衆議院議員による国政報告会が行われた。岸本議員は民主党議員であるが、「今日は、党の話はしません」と前置きし、神話を用いて目標とするところを語った。最後に「野党ですが、マイナンバー法案といい電気事業法といい、修正を繰り返し成立することができました。税理士法改正についても、野党である強みを生かして、恩返しができるよう頑張ります」と力強く述べた。

最後に、大西後援会会長が税理士法改正に関する要望書を岸本議員に提出した。

国政報告会終了後、同会場で、鶴島信二会員の司会により懇親会を開催した。勝田晃夫会員による乾杯のあいさつがあったほか、最後に西川明伸会員による閉会謝辞に続いて「頑張ろう」の発声を行い、懇親会は盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

たのせ太道後援会 結成式 たのせ良太郎後援会 解散式

日 時 6月29日

場 所 橿原観光ホテル(奈良県橿原市)

来 賓 田野瀬太道 衆議院議員(奈良4区)

大村恵美子 近税政副会長

山本眞市 近税政奈良県支部連会長

◎たのせ太道後援会 結成式

山本支部連会長から、たのせ太道後援会結成に至る経過報告がされた。この後、後援会結成式において出席者全員が賛成し、たのせ太道後援会が設立された。また、会長に長谷川博章会員、幹事長に吉田廣彰会員を選任した。

●長谷川博章 新会長

若輩ですが一生懸命、会長を務めるのでよろしくお願ひしたい。田野瀬太道議員とはJC等を通じよく存じており、税理士会との関わりを密にできる環境づくりに努力する。ご協力よろしくお願ひしたい。



長谷川博章 後援会会長

●田野瀬太道 衆議院議員

これから日本経済の景気を上げるために頑張る、安倍政権を支えていく。税理士制度は日本

のため、国民のために必要な制度である。田野瀬良太郎同様、引き続きよろしくご支援のほどお願ひする。



田野瀬太道 衆議院議員

●大村恵美子 近税政副会長

田野瀬議員は、我が国の経済力・教育力・外交力を取り戻し、頑張った人が報われる社会を作るなど、スピード感をもって国政に当たりたいと述べられている。今後のご活躍を期待する。

後援会の皆様には、税政連活動への積極的なご参加をお願ひする。

◎たのせ良太郎後援会 解散式

解散式で会長が後援会解散を提案し、全員一致で可決承認した。

●岩崎和夫 後援会会長

田野瀬良太郎前議員は20年間衆議院議員を務め、財務副大臣・自民党総務会長も経験し、税制改正・税理士法改正に尽力していただいた。昨年の衆議院議員総選挙には出馬せず、公募の結果、ご子息である田野瀬太道氏に後進の道を委ねられることとなった。多くの業績を残された田野瀬良太郎前議員を惜しみ、感謝しながら、本日をもって田野瀬良太郎後援会を解散したい。

(奈良支部 黒田有紀)

第1回

川柳書道

コンテスト

■締め切りのお知らせ

平成25年6月20日(木)をもって、募集を締め切らせていただきました。

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

どこから来たの この言葉？

先日、女流棋士である里見香奈さんが、史上初の4冠を達成しました。彼女は“出雲のイナズマ”と呼ばれているそうです。

ところで、将棋や囲碁の世界で使われている言葉に注目して、その意味を探ってみました。

まず、囲碁で使われる「一目置く」です。囲碁では弱い方が石を一つ置いて始めることから、相手の力量に敬意を表し一步譲って接することをいいます。次に「捨て石」。これは、より利益を得るためにわざと相手に取らせる石のことであり、転じて、一見無駄なようでも将来の利益を見込んでする投資や行為を意味します。他にこの世界で使われる言葉には、「定石」「布石」「目算」などがあります。

将棋の世界に目を向けると、よく使われる「成金」という言葉があります。敵陣の3段目以内に入り金将と成った駒のことで、弱い駒が急に強くなることから、にわかに金持ちになることを指します。また「高飛車」とは、飛車を定位置から2段ないし3段前に進めて攻勢をとる形のことで、相手を頭ごなしに威圧したり、高圧的であることをいいます。「王手」は次の手で相手の玉将を取れる状態のことであり、あと1勝で優勝できる場面などで用いられます。また、相手に王手を許してしまう時には逆王手という表現も使われます。他にも「持ち駒」「将棋倒し」などがあります。

囲碁と将棋の両方で使う言葉として「筋」があります。これは、理にかなった手の進め方や、局面での有効な差し手をいいます。物事の進め方が道理に沿っていないことを「筋が悪い」、目指す方向や判断が間違っていることを「筋が違う」、道理を通すことを「筋を通す」というのです。

このように何気なく使っている言葉にも、深い意味があるんですね。(姫路支部 上野政則)

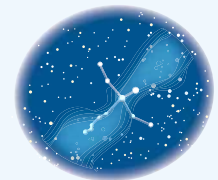


近税政本部のうごき

- 第6回推薦審査会(書面審議)(5月24日)
 - 第23回参議院議員通常選挙における推薦候補者の決定について
- 第3回正副幹事長会(書面審議)(6月12日)
 - 「税理士による西野弘一後援会」を支援後援会に認定することについて
 - 「税理士による柳本卓治後援会」を支援後援会に認定することについて
- 会員研修会(6月17日)
- 選挙関連法勉強会(6月17日)
- 政策・組織・後援会対策合同委員会(7月3日)
 - 第47回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第47回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他
- 第1回広報委員会(7月5日)
 - 第47回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第47回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - 機関誌第192号(5月号)の批評

- 機関誌第193号の編集について
- 機関誌第194号の編集企画に関する件
- その他
- 財務・国対・選対合同委員会(7月10日)
 - 第47回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
 - 第47回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
 - その他

銀河系



政権与党への中間評価である参議院議員選挙の結果、国民は「アベノミクス」推進を強く支持した。税と社会保障のあり方をどのように位置づけるか、国民の意識を十分に理解し、税理士こそが“あるべき税制”を見定め、建議しなければいけない。今こそ税理士が頼りになる真の国民の味方であることを表明する時である。そのためにこそ「税理士法の改正」が必要である。税理士全員が税政連を後押しするべきだ。(黒田有紀)